



2003 ~ 2004 年度

# THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA-NORTH

例会日：毎週水曜日 12:30 ~ 13:30

例会場：越谷市千間台東1-1-6

クオレ千間台 2F

TEL 048 (975) 9898

FAX 048 (977) 3741

創立：1976年5月11日

会 長：小林 操

副 会 長：今野 忠雄

幹 事：太田 靖彦

会報委員長：石川 輝次



第1351回例会記録 No. 13

平成15年10月8日

司会：中島 正義

編集：千葉 千秋

## 会次第

- 1、点鐘
- 2、ロータリーソング  
「それでこそロータリー」
- 3、会長挨拶
- 4、幹事報告
- 5、お客様挨拶
- 6、職業奉仕フォーラム「外部卓話」
- 7、点鐘

次回例会予告

平成15年10月22日

雑誌記事紹介

米山月間卓話

## 会長挨拶



会長 小林 操

こんにちは。今月はロータリークラブ活動で最も緊張する月だと思います。それは来週に迫ったガバナー公式訪問があるからです。今日は RI 国際ロータリーおよび地区の目的、ガバナーの任務、公式訪問の意義についてお話したいと思います。公式訪問の意義については、先週のクラブ協議会の折、説明させていただきましたが、再度、確認したいと思います。RI 細則第 15.090 節に、その目的として、重要な

ロータリーの問題に主眼を置き関心をもたせること、弱体あるいは問題のあるクラブに特別な関心を払うこと、ロータリアンに意欲を起こさせ奉仕活動に参加させること、地区内におけるロータリアン個人の卓越した業績を表彰すること、と定義されています。現状では 1997 年から導入されたニュー・リーダーシップ・プランによって、クラブ協議会はガバナー補佐に代行させ、会長幹事懇談会のみでの出席でよく、例会における卓話で事足りることになっています。ガバナーは RI 理事会の一般的な指揮、監督の下に職務を行い、その地区における RI の役員であり、その任務・役割は、1.新クラブの結成、2.既存クラブの強化助成、3.クラブ相互およびクラブと RI の情報伝達、4.公式訪問、5.ガバナー月信の発行、6.地区大会の主催、7.地区協議会や次期会長研修会の援助、などが挙げられます。

私たちは日頃、RI 会長テーマを信奉し、1 年間活動するわけですが、RI が、そして地区がどれほど、自分達ロータリアンを拘束するものなのか理解していません。国際ロータリー定款第 2 条（名称および性格）によると、「本組織体の名称は国際ロータリーとする。RI は全世界のロータリークラブの連合体である。」とあり、第 3 条（目的）では、「1.全世界にわたって、ロータリーを奨励し、助長し、拡大し、そして管理すること。2. RI の活動調整し、全般的にこれを指導す

ること。」とあります。また、RI の目的やクラブとの関係を明確にしたものに、「決議 23 - 34」があり、第 3 条に RI の目的、第 5 条にクラブ管理の原則が定められています。「第 3 条、国際ロータリーは次の目的のために存在する団体である。ロータリーの奉仕の理想の擁護、育成および全世界への普及。ロータリークラブの設立、激励、援助および運営の管理。一種の情報交換所として、各クラブの問題を研究し、また強制でなく有益な助言を与えることによって各クラブの運営方法の標準化を図り、社会奉仕活動についても、既に広く多くのクラブによってその価値が実証されており、国際ロータリー定款に掲げられているロータリーの綱領の趣旨にかない、これを乱す恐れのない社会奉仕活動によってのみ、その標準化をはかること。第 5 条、各ロータリークラブはクラブとして関心があり、またその地域社会に適した社会奉仕活動を自主的に選ぶことについては絶対的な権利をもっている。しかし、いかなるクラブも、ロータリーの綱領を無視したり、ロータリークラブ結成の本来の目的を危うくするような社会奉仕活動を行ってはならない。そして国際ロータリーは、一般的な奉仕活動を研究し、標準化し、推進し、これに関する有益な示唆を与えることはあっても、しかし、どんなクラブのどんな社会奉仕活動にせよ、それを命じたり禁じたりすることは絶対にしてはならないものと

する。」とあり、RI の直接監督事項とされる理念上の必要的条件や、クラブの管理原則である定款に違反しない限り、クラブ運営に口出しすることはできないということです。このことからして、RI 会長の監督代行であり、RI 役員であるガバナーが管理する地区の役割は、「国際ロータリーの管理の便宜上まとめられた一群のクラブの所在する、一定の地理的区域であり、ロータリー地区の活動並びにその組織は、個々のロータリークラブがロータリーの綱領を推進するのを助けることを唯一の目的とするものであり、地元レベルにおいてロータリークラブや個々のロータリアンが提供するいろいろの奉仕を滅殺するようなことがあってはならない。(1972 年 RI 理事会)」とされています。

以上のことから、地区あるいは RI は、ロータリーの綱領のもと、各ロータリークラブを管理・調整する組織であり、また奉仕活動の標準化を目指すものであり、けっして義務化、押付け拘束するものではないことが理解されるでしょう。

来週の公式訪問は、ぜひ活発な討論をお願い申し上げます。これをもちまして卓話とさせていただきます。ありがとうございました。

今日の卓話の資料は、手続要覧、および第 2680 地区パストガバナー田中毅氏のホームページを参考にさせていただきました。

### 幹事報告



幹事 大田 靖彦

四半期の会計報告を掲示板に貼ってあります。

今年の R・I 会長はロータリーファミリーを提唱しております。当クラブは前々より夫人部が活発ですが、今後の活動の参考にアンケートを発送させて頂きましたのでご協力をお願い致します。

野中会員の退会届が 9 月末で出され 10 月の理事会で承認されました。

岩槻 R・C 例会変更のお知らせ

### お客様挨拶



越谷市民まつり実行委員会  
委員長 吉澤 行雄様

皆様こんにちは。

大変貴重な例会のお時間を拝借させていただきます。

今年の第 29 回の越谷市民まつりの実行委員長をおおせつかっております越谷青年会議所から出向しております吉澤と申します宜しくお願い致します。越谷北ロータリークラブの皆様には日頃、青年会議所の方で大変お世話になっております。又今年 30 周年を迎えました我々青年会議所の方では小林会長さんを始め皆様には大変お世話になっております。重ねて御礼申し上げます。

今年の市民まつりは当初の 10 月 26 日から選挙等の事情によりまして 11 月 23 日にやむなく変更になりました。越谷のロータリークラブの関係の皆様にはこの日が地区大会ということで大変ご迷惑をお掛け致しますが何卒宜しくお願い致します。

本日は皆様の善意からなります協賛金のお願いに参りました。詳細につきましては副実行委員長の井橋の方からご説明させて頂きます。

#### 副実行委員長 井橋 潤様

皆様あらためましてこんにちは  
第 29 回越谷市民まつりの副実行委員長をおおせつかっております井橋でございます。さきほどは早速のところご協賛を何人かの方から戴きました誠に有難うございます。

北クラブの皆様方には市民まつりで人気のバトラーツのプロレスでは毎年立見が出るような盛況ぶりで、今年度も市役所玄関前の一番いいスペースで開催させていただくということで、市民の皆様も楽しみにしていると

思います。

さきほどの実行委員長の話にもございました市民まつりは皆様方のご協賛から成り立っております。後日改めて青年会議所のメンバーがご協力をお願いにあがるかと思しますのでその時には是非とも暖かいご協力をお願い申し上げます。

本日は有難うございました。



#### 越谷ロータリークラブ

#### 瀧田 大樹郎様

皆様こんにちは

本日は「越谷警察官友の会」の会長として皆様をお願いにまいりました。

「越谷警察官友の会」創立 27 年を迎えております。平成 3 年度の会員の一番多かった時から比べまして今大変会員が減っております。

私達の住む越谷市は人口 317,000 人警察官が 270 人、昼夜三交代で働いておりますが事件、事故が大変多く休む間がない、しかも公務中に交通事故に遭う事も多く、何とか「警察官友の会」で援助出来たらということで今まで発展している訳でございますが、事件、事故、110 番の数が岩手県など他の県より越谷の方が多い、このような状況のなかで、私達市民が安全で安心して

住める係りとしての警察官に少しでも応援することが出来るよう会員を少しでも増やす為に皆様にご協力をお願い致します。

### 委員会報告



米山奨学委員会 櫻井智之会員

米山記念奨学部門だよりを読ませさせていただきます。

「米山奨学会寄付御礼とお願い」

米山記念奨学増進委員長

田中 欣一

平素は米山記念奨学事業に、ご協力を賜り有難うございます。

今年度は米山功労者制度が大幅に変更になりました。今まで 300,000 円で第 1 回目の功労者でしたが、100,000 円ごとに米山功労者表彰が受けられることになりました。この制度によって個人の特別寄付はとても出しやすくなったのではないかと思います。すでに前期分の普通寄付、特別寄付ともに納入が始まっております。

普通寄付についてはお一人 5,000 円をお願い致しておりますが前期 2,000 円のお振込みのクラブは後期 3,000 円のお振込みをお願い致します。

また特別寄付についてはお一人 15,000 円～20,000 円で 100%以上の

寄付達成率になりますのでこの方法が会員の皆様に平等でよろしいかと思われます。もちろん米山功労者になって下さる方は大歓迎です。

7月に早々と米山功労者になっていた方々には改めて御礼と感謝申し上げます。

さて、7月の寄付金実績は全体で前年度比 3.55%の減少となりました。我々米山記念奨学委員会では 10月の米山増進月間に向けて、各クラブへの卓話依頼書をお送り致しました。依頼のあったクラブへは派遣承諾書をお送りしております。その際は米山記念奨学生を連れて卓話に参ります。奨学生の生の声をお聞きいただき更なるご支援をお願い致します。

日本独自のこの制度はロータリーの奉仕の心を目の当たりに実感できる唯一の素晴らしい制度と心し、委員一同お手伝いさせていただいております。

## 【職業奉仕フォーラム】

### 講演



ユタカ・フューチャーズ(株)  
代表取締役 砂原 俊介様

講演テーマ……

### 「視点」

ただいまご紹介いただきました砂原と書いて「すはら」といいます。一般的には「すなはら」と読む方が覚えやすいので別に否定はあまりしません。

本日は、日本の経済の現状とこれからの見通しについて話をしたいと思います。お手元に資料をお配りしてありますが、まず現在の経済、社会の現状を知っておくことがこれからの対応であるとか将来の投資であるとか現在の現状を理解することが大変重要であると思います。

私は、相場の世界にいますが皆さんが相場と言うとイメージが悪いと思われませんが、普通、言葉の中に「このあたりがそうばかな」という意味は基本的には売りたい人と買いたい人の値段の妥協点が相場となっている。

そこで私共が商品というのは資産の運用を行っています、商品ファンドというプールされた資本をアメリカや国内の市場で運用している仕事です。

私共がその判断の基準を絶えず持っていないと出来ない訳で、その基準を考えるには日本経済と現在、世界で起こっている状況と根っこは同じで共通するものがグローバル化である。日本の金融機関は自己資本比率が8%以上なくてはならない、これがグローバルスタンダード「国際基準」でありこれ以上でないと国際的業務が出来ない。その為日本の金融機関は不良債権処理だとか整備統合を行っている。

現在、日本企業の競争力が弱っている、隣国等の人件費の安い国から安い商品が多く入って来る為デフレと言われているがインフレとデフレは通貨価値が高いか悪いかであり現在の円は1ドル109円ですが、1995年の1ドル80円を割った時より今の円のほうが実質では、はるかに高く、現在の物の値段と比較すると日本企業はリストラ等人件費の削減を行い、人件費の安い国で商品を生産するようになっているがグローバル化の流れが分かっていないと競争には勝てない。

今の日本の問題点の一つは、国家の累積財政赤字が膨大に増えたことで、国家だけで650兆円位、地方の赤字が150兆円、政府関連の赤字が200兆円とするとおおよそ1000兆円の公的負債をかかえている。

公的負債の 1000 兆円は GDP の 200%に相当する金額で、EUの通貨統合条件が累積 GDP の 60%、短年度赤字 3%が通貨統合の基準である。今、日本では行政改革、財政改革といわれているがなぜこのようになったか、もともと財源がなかったわけで、個人の金融資産が 1400 兆円あるが、45 兆円の税収で 80 兆円の予算を組んでいるから 35 兆円は最初から赤字になっている、それを何年も続けてきている。

その他に、年金や郵貯等を使って公共投資などを行ってすでに 1400 兆円は使われている。1400 兆円のうち個人の借入れが 350~400 兆円位あり民間の企業が 200 兆円位あるので実際の個人金融資産はなくなっており、財源がないので日銀の国債の買い上げが増えて 2年で 90 兆円になっている。現在の状況のなかで赤字を処理対応していくには通貨の切り下げしかないが現状では世界各国が認めないであろう。

円高は景気が悪くなるといわれるが現在の円高は 90%の人が歓迎していると思う、いずれにしても国民の大半が将来への不安をもっているのではないか。

もう一つの問題点は日本の人口構成でこのまま少子高齢化が進むと 10 年後は就労人口が大幅に減少する為、年金、保険等の負担が増え、税金等の収入が減少する。今まで蓄えた年金にしても無駄な使い方によって減らし

てしまっている。今後の就労人口をどうするかを考える必要があるのではないか。さらに個人金融資産 1400 兆円のほとんどは 65 歳以上の人を持っているが金融機関等の運用の仕方が問題である。

いずれにしても今までこのような問題を先送りしてきたことにより今後急激な変化が起こりうる可能性があり 4年後の就労人口の移動によって急激に社会負担の赤字が増加し耐えられなくなると思われる。

#### 「プロフィール」

昭和 17 年 3 月、三重県上野市に生まれる。昭和 35 年高校卒業後、岡三証券に入社、直ちに関連会社である商品先物取引の岡藤商事に出向、昭和 46 年退社し同業の豊商事に入社、東京で業界最初の法人部をスタートさせる。昭和 62 年、取締役法人部長に就任、平成 6 年、日本で初めての商品投資顧問業設立のため同社を退社、経済産業省、農林水産省認可のユタカ・フューチャーズ(株)社長に専任し現在に至る。

#### 出席報告

会員数	50名
出席免除	4名
出席者	33名
欠席者	17名
出席率	71.7%
前回メークアップ	0名
前回修正出席率	